

『市長と“みらい”を語る集い』開催

谷原地区、福岡地区の方を対象に5月18日『市長と“みらい”を語る集い』を開催しました。

谷原地区の会場となった谷和原保健福祉センター、福岡地区の会場となった谷和原公民館福岡分館には、それぞれ約30人の方が訪れ、今後のつくばみらい市のまちづくりについて、ご提案ご提言をいただきました。

懇談会でご提案ご提言いただいた内容をお知らせします。

男性 これからの子どもたちには、学校教育などで目標を見つけてさせていただいて、意欲を持つ



▷市長に提案・提言を行う参加者（福岡地区）



市長に提案・提言を行う参加者（谷原地区）

たせ、維持させることが大切だ
と思う。それには学校だけではなく、保護者や地域が応援する環境づくり、まちづくりが必要となってくる。地域に根ざした人材教育を推進してほしい。

男性 我々の年頃になると便利になることはいいことかもしれないが、忘れてはいけないものがあるんじゃないかとも思う。市内には、昔ながらの田畑や里山があり、そのような風景の中で、子どもたちを伸び伸びと育てていくことが必要ではないか。みらい平地区などはほとんどでは里山風景を残したまちづく

りをしてもらいたい。

男性 子どもが誇れるまち、教育といった視点で施策を進めていただき、これからは担っていく子どもたちのため、教育を一番の柱にしていきたい。つくばみらい市は東京には40分で行ける、また、隣には国際都市のつくば市があるという、国際性も兼ね備えている市、誇れるまちになっていると思う。小学5、6年生から英語教育が始まるという中で、今後世界に羽ばたいていくには絶対的に英語が必要になってくる。留学生などの外国人を活用しながら、寺子屋などでもいいですから、そういう場を作っていただき、いつでも英語に親しめる環境づくりを教育に取り入れていただきたい。

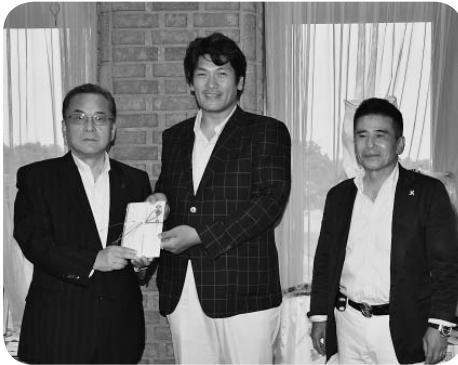


▷市の将来像を語る片庭市長

善意の寄附をいただきました

〔立浪部屋関東後援会様より〕

市内にある立浪部屋の関東後援会（塚田純夫会長）様より、青少年育成に役立ててほしいと、10万円が市に寄附されました。



▷片庭市長（左）に目録を手渡す立浪親方（中央）と塚田会長（右）
〔ワールドレディスチャンピオンシップサロンパスカップ大会事務局様より〕

5月9日から12日まで市内の茨城ゴルフ倶楽部で開催された、ワールドレディスチャンピオンシップサロンパスカップでのチャリティ収益金42万7655円が、スポーツ振興に役立ててほしいと、市に寄附されました。



片庭市長（左）に目録を手渡す小林浩美女子プロゴルフ協会会長（右）

市では、同大会で優勝した茂木宏美選手に副賞として、つくばみらい市産コシヒカリ3俵を贈呈しました。



▷茂木選手（左）に市産コシヒカリを贈呈する片庭市長（右）